

えつくす 特別号 2013

AUTUMN

三重大学広報誌
[三重大X]



CONTENTS

[特集] 学長一行が行く～南北アメリカ縦断日誌～…01 [特集] 輝くOG!Ⅳ…03 気になるNEWS…05 お知らせ…07

特集 ● 学長一行が行く〜南北アメリカ縦断日誌〜

特集 ● 学長一行が行く〜南北アメリカ縦断日誌〜

学長一行が行く 〜南北アメリカ縦断日誌〜



三重大学長
内田 淳正 Uchida, Atsumasa

8月中旬にアメリカ、ブラジル、ペルーと2週間の出張。アメリカではボストンのハーバード大学、インディアナポリスのインディアナ大学、サンディエゴのカリフォルニア大学サンディエゴ校を訪れ、学生交流や研究協力の話をまとめました。

ブラジル・サンパウロ大学とペルー・リマの国立ラ・モリーナ農業大学とは大学間連携協力協定を締結しました。ハードでしたが、稔りの多い旅でした。

サンパウロではわれわれ一行の歓迎のために三重大学農学部南米三翠同窓会が開かれました。同窓生20人とその2世、3世の家族を含め、総勢60人の方が集まり、昔話に花を咲かせました。ブラジルに大きな夢を抱き、待ち構える数々の苦労をもとせずに現在の成功を勝ち取った自信にあふれた表情は三重大学の誇りです。後に続く若者の夢と志と行動力を期待しています。航空機の発達で世界は狭くなり、南米までもひとつ飛びです。学生諸君!大なる飛躍を期待しています!

国立ラ・モリーナ農業大学 カジェタノ・エレディア大学

2013.8.21—8.23

三重大学副学長(国際担当) 江原 宏

国立ラ・モリーナ農業大学 (UNALM) においてペルーの大学とは初となる学術交流協定および学生交流覚書を締結しました。UNALMは1902年に設立され、8学部・4大学院に学生数約6,000人を有する、農業、畜産、森林、漁業、食品工学等のリーダー的学術教育機関です。ペルー沖の海洋環境の調査や、アンデス山脈およびアマゾン川流域の自然資源を対象とした研究開発が特徴的です。また、滞在中に、カジェタノ・エレディア大学 (UPCH)、附

属熱帯医学研究所、リサーチ・ユマニア症・マラリア研究室を訪問しました。UPCHは感染症、保健衛生、環境科学や資源植物等に関する研究が盛んな大学です。医学、生命科学、生物学分野での連携に向けて意見交換を行いました。



国立ラ・モリーナ農業大学



カジェタノ・エレディア大学

カリフォルニア大学 サンディエゴ校

2013.8.24

三重大学大学院医学系研究科・教授
島岡 要

カリフォルニア大学・サンディエゴ校 (UCSD) を訪問しました。米国ではハーバード大学やスタンフォード大学など私立大学が研究を牽引する中で、公立の州立大学として健闘しているUCSDの研究・教育施設を視察しました。UCSD医学部整形外科の舛田教授とお会いし、グローバルなレベルでの医学研究の進め方、臨床医学研究者の育成方法、さらにはバイオエンジニアリング分野での三重大学との共同研究・人材交流のハブとなるセンター構想について意見を交換しました。



ハーバード大学

2013.8.13—8.14

三重大学大学院医学系研究科・教授 島岡 要
ハーバード大学で幅広い分野の研究者と意見交換し、世界最先端の研究事情を理解するための情報収集と共に、三重大学との共同研究や人材交流の具体案について話し合いました。ハーバード大学公衆衛生大学院のReich教授とは医療政策のあり方について、ハーバード大学アジアセンターMills博士とはグローバルな文化の発信の戦略について、フォーサイス研究所の河井学部長とは現在進行中の三重大学とのリサー



チンタラについて、在ボストン日本領事館の渡辺 主席領事とは日本の外交政策と高等教育の連携についてディスカッションを行いました。また、ハーバード大学医学部ダナ・ファーマー癌研究所では留学中の日本人若手研究者との交流会を行いました。

トップレベルの研究者との意見交換が行われたんだね



インディアナ大学

2013.8.15—8.16

小林 道弘 (平成2年医学部医学科卒)
吉本 桃子 (平成5年医学部医学科卒)

私たち夫婦は2005年にともにポスドク*としてインディアナ大学にやってきました。8年の間に夫はラボを一回変わり、私もラボをやめようかと思うこともありましたが、それでも二人とも論文をだし、Research Assistant Professorのポジションに昇格しました。そして、私たちが三重大学病院の病棟で働いていたときに、整形の教授だった現学長の内田先生とこのインディアナで国際交流のために15年ぶりに再会できたことは、たいへん嬉しく思っています。アメリカ来ると日本の良さが本当に良くわかります。日



本は世界一です。ぜひアメリカに来て、日本のすばらしさを再認識してください。そして、自信をもって世界と渡り合ってください。

インディアナ大学は三重大学に似ていて、インディアナ大学出身の先生は愛校心が強く、インディアナ大学をより良くしようと頑張っています。インディアナ大学と三重大学の交流は、両校にとって実りあるものと信じています。

*ポスドク：博士号を取得した研究者

三重大学のみなさんへ

4歳から80歳までの方々が参加したんだよ



三重大学農学部 南米三翠同窓会

2013.8.18

南米三翠会 徳力 啓三、野口 博史、角谷 博

学長ご一行がブラジルを訪問すると聞き、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイに散らばる20人のOBに声をかけ、これまでにない歓迎をしようと計画しました。全員参加というわけにはいきませんでした。OBやその家族60人と4人の先生が集まり、6時間に及ぶ大交流会になりました。三

重大学の前身である三重大高等農林学校の三翠応援歌を全員で合唱し、若き時代を甦らせることができました。今後、三重大学とブラジルの研究者交流が活発に行われることが予想されます。その際には、南米三翠会も協力し、三重大学の発展に少しでも寄与できればと思っています。



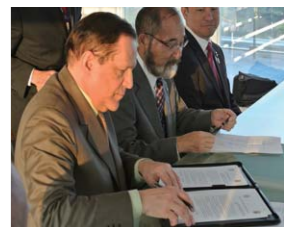
徳力さん 野口さん 角谷さん

サンパウロ大学

2013.8.19—8.20

三重大学理事(国際交流担当)・副学長 堀 浩樹

南米における最大かつ最高の大学であると云われているブラジル・サンパウロ大学と大学間協定を締結しました。サンパウロ大学は学生数9万人の大規模校ですが、内田学長が調印式で「サンパウロ大学に比べ三重大学は非常に小さな大学ですが、“山椒は小粒でもびりりと辛い”という諺が示すような優れた大学です」と挨拶をされたように、堂々と良好な交流関係を発展させていきたいと思ひます。これまでの交流は、人文学部が中心でしたが、今後は医学部や生物資源学部との交流も実施していきたいと考えています。今回の訪問には、三重県の親善使節団が同行しており、三重県知事も調印式に同席されました。



“輝くOG! IV”

特集
学長対談
SPECIAL EDITION

離島で働く一人の女性医師。
三重大学OGでもある徳先生に
内田学長がその想いを訊いた。



おきのえらぶ
沖永良部徳洲会病院
平成2年開設。病床数は132床。
沖永良部島では唯一の総合病
院であり、救命救急・急病診療に
も24時間体制で取り組んでいる。

★離島のために、自分にできることを ~輝くOGIV~ File. 20



沖永良部徳洲会病院にて
(鹿児島県沖永良部島)

徳
Toku, Ryoko
涼子

沖永良部徳洲会病院
小児科医

大阪府生まれ。2001年春に三重大学医学部卒業後、同
大学小児科に入局。2007年秋に鹿児島県沖永良部島
に移住し、2008年5月より現職。



(病院玄関にて) 真ん中は徳先生の娘・咲子ちゃん

島内唯一の小児科医

学長：今、奄美群島^{※1}では小児科医は何人いるの？

徳先生：奄美大島の県立大島病院に小児科があり、5人の医師が勤務
しています。徳之島は非常勤の先生だけで、与論島にはいま
せん。沖永良部島は私一人ですね。

学長：他の小児科医に相談したいときに困らない？

徳先生：患者さんを紹介した先の先生に相談させていただいたり、他の
分野のことで相談できる機会は増えてきました。三重大学の
先生には今でも電話やメールで相談させてもらうこともあります。

学長：それなら安心やね。他に島ならではの難しさはあるの？

徳先生：台風の時期は困りますね。島での診療には限界があるので、設
備の整った大きな病院への搬送は天気が悪いとできなくなって
しまいます。搬送するかどうかの判断と、物理的に搬送できるか、
その両面で難しさを感じますね。

※1：奄美群島…鹿児島県南南西の太平洋上に浮かぶ奄美大島、徳之島、沖永良部島、喜界島、与論島
などからなる島嶼群

島々の協力体制

学長：ここからだ一番搬送しやすいのは奄美大島か沖縄やね？

徳先生：沖縄の場合はドクターヘリがあるので、電話をすれば40
分後には来てくれますね。奄美大島へは自衛隊のヘリで
の搬送になるのですが、救急用のヘリではないので連絡
をしてから到着までに2~3時間はかかってしまいます。奄
美大島でも今後ドクターヘリの導入が予定されています。

学長：そうすると今は患者さんの負担の少ない沖縄への搬送
が一番助かるわけやね。

徳先生：そうですね。沖永良部島からは奄美大島と沖縄は同じ
距離なのですが、島の人にとっても沖縄のほうが行くことも多くて親戚もいたりするんですよ。
鹿児島県としては奄美群島内で医療圏を作りたいようなのですが、奄美大島には大学病院
のような三次救急医療機関がありませんし、沖縄の協力は欠かせないと思いますね。



患者さんは心の支え

学長：徳先生みたいに熱心な先生が来てくれて、みんな喜んでしょ。



徳先生：いやー、まだまだ力不足ですけどね(笑)でもこっちに
来て丸5年なんですけど、患者さんが、1回りの診察だ
けじゃなく、何かあったときに“いつも自分のところにき
てくれている”っていうことが本当に心の支えですね。

学長：絶対そうやと思うわ。私自身も整形外科医として勤め
ていたのでよく分かる。

徳先生：必要とされていないと、やっぱり波ができますよね。自分
の自信には。

学長：どこにいても、“患者さんが信頼してくれている”とい
うのは医者への生き甲斐やね。

未来の医師たちにむけて

徳先生：駒田先生^{※2}に言われて今でも心に残っているんですが、「『分からない』という言葉は簡単
には言っはいけない。その分野の世界一の医師が知らないと言ったときに初めて、『分
からない』と言いなさい」と。こっちに来て佐々木院長^{※3}からも、「離島ではできることしかできな
い。2年目は2年目なり、3年目は3年目なりにできることを精一杯する。特殊な技能をもっている
人だけが離島医療をできるわけじゃない」と言われました。自分にできることっていうのは限ら
れているけれど、その中でできることを一生懸命に取り組んでほしいと思います。

学長：「できることしかできない」。このことを理解することは大事やね。どれだけ一人で頑張って
もできないことはいっぱいあるからね。できることをいかに着実にこなすかが大切なんや。

徳先生：そうですね。それと、私の場合は家庭があつての仕事だと思っています。それぞれ自分が一
番大切なものは何かっていうことをしっかり見極めた上で将来を考えてもらいたいですね。

※2：三重大学医学部附属病院小児科 駒田美弘教授
※3：沖永良部徳洲会病院 佐々木紀仁院長

● 特集 ● 輝くOGIV ● 広報室員 が見た! 沖永良部島は こんなトコロ



田皆岬

鹿児島県大島郡に属し、九州本島から
南南西へ約540kmの地点に位置するサン
ゴ礁からなる島です。島へのアクセスは鹿児
島または沖縄からフェリーか飛行機で。飛行
機なら1時間前後で到着することができます。

自然豊かなところで、島の空気と景観に
心癒されました。島をひらひらと舞う蝶にさ
れいな草花。奄美群島国定公園の田皆岬
からの眺望はとても美しく圧倒されました。
島の天然記念物に指定されている鍾乳洞「昇
竜洞」も非常に神秘的な空間でした。

名産のマンゴーは、とろけるような口当
りや程よい甘さが最高で、「これが本物のマ
ンゴーやったんや!」と叫びそうになりました。
島の人々もとても温かい方ばかりで、本
当に良いところでした。興味をもたれた方は
ぜひ沖永良部島へ!



昇竜洞



徳先生
ご協力ありが
ごう
ごさいました

これから
頑張ってください

気になるNEWS



7月5日
セタECOナイト
～消してMIEるエコな光～



温暖化防止を目的に、「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を行い、節電の意識を高めました。

7月15日
みえアカデミック
セミナー2013



生物資源学研究所の幹渉教授が「海洋生物の贈り物が『美と健康』をつくる」と題して、104人の参加者の前で講義を行いました。

7月21日
AQUA SOCIAL FES!!
～素足で走れる海岸へ
町屋海岸清掃プロジェクト～



環境ISO学生委員会とNPO法人「町屋百人衆」の合同主催により行われ、約250人が参加し、空き瓶など54袋のゴミを拾集しました。

7月24日
第18回オーシャンビュー
コンサート



落語家の桂三発氏を迎え、初の落語によるオーシャンビューコンサートが開催されました。演目「桃太郎」が行われ、会場は追加席が設けられるほど盛況でした。

7月25日
ゴーヤを収穫しました



環境・情報科学館(メープル館)前で緑のカーテンとして育てていたゴーヤを内田学長と朴理事(企画・評価・環境担当)、環境ISO学生委員会が収穫しました。

7月25日・26日
学生写真展
「国際モラトリアム」



世界各地をそれぞれ一人旅した医学部生の田中源八さんと宮田光顕さんによる写真展が開かれました。様々な世界による写真展が開かれました。様々な世界の問題を考えさせられる写真も多く、来場者は真剣な面持ちで写真に見入っていました。

7月27日
四語折々を開放
(津花火大会)



小児病棟の子ども達をはじめ、入院中の患者の皆さんに花火を楽しんでほしいという思いから、新病棟12階レストラン「四語折々」が営業時間を伸ばし、今回初めて一般開放されました。

8月2日
風力発電体験学習



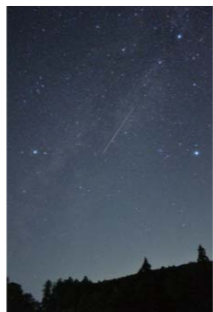
小中学生23人は自転車で電気を発生させたり、風車を作ったりと有意義な体験をしました。

8月7日・8日
オープンキャンパス
2013



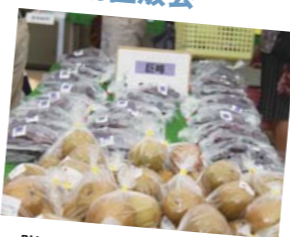
三翠ホールに集まる生徒たち
8月7日(人文・生物資源)、8日(教育・医学・看護・工学)に開催され、県内外から、約4,700人が参加しました。

8月12日
第4回星空観望会
～ペルセウス座流星群
観望会～



教育学部屋上で、80人の参加者がブルーシートに寝転がって流星観望を行いました。流星が流れると一斉に歓声があがるなど盛り上がりを見せました。

8月21日
附属農場で
生産物直販会



附属農場で学生・教職員が実習などで栽培した野菜や果実、加工食品などを販売する「直販会」が行われました。

8月22日・23日
第12回フレンドシップ事業
「子ども科学教室2013」



小学生を対象に、2日間を通して物理、化学、生物、地学の実験を体験する科学教室が教育学部で開講され、参加児童60人は実験に熱中していました。

9月3日
平成25年度
第1回地震防災訓練



南海トラフを震源としたM8.7、津市内震度7の地震と伊勢湾に大津波警報の発表を想定した標記訓練が行われ、教職員約150人が参加しました。

9月4日
田村憲久厚生労働大臣
が附属病院を視察



みえライフイノベーション総合特区の重点計画である、統合型医療情報データベース構築などについて意見交換が行われた後、新病棟や臨床研究開発センターを視察されました。

9月5日
三重大学ブランドコーヒー
試飲会



三重大学とチェンマイ大学、CCSコーヒー(株)との共同開発で作られた、三重大学ブランドコーヒーの味を最終チェックする3回目の試飲会が行われました。

9月6日・7日
国際忍者シンポジウム
「忍者」からみた日本と中国
— 交流の歴史と未来



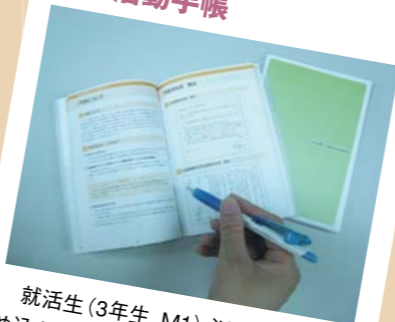
人文学部設立30周年・伊賀連携フィールド開設1周年を記念して、ハイビア伊賀にて開催され、1日目は忍者に関する講義、2日目は三重大学の留学生と上野高校の生徒との話し合いなどが行われました。

9月16日
パープルリボンウォーク&
セミナー2013 in 津



すい臓がん啓発キャンペーンとして行われ、医療相談会やパープルリボンオリジナルグッズの販売などが行われました。午後はセミナーが開催され、4人の医師から、診断・治療・緩和ケアなどについての講演がありました。

三重大学オリジナル
就職活動手帳

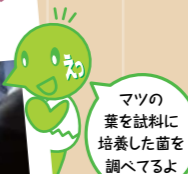


就活生(3年生、M1)必読の内容が詰め込まれた三重大学オリジナル就職活動手帳ができました。

生物資源学部
資源循環学科の2年生が
自由研究を行いました



研究室配属前の2年生が7つのグループに分かれ、教員とともに自由研究を行いました。



マツの葉を試料に培養した苗を調べてるよ

環境報告書2013が
完成

三重大学の環境活動などをまとめた環境報告書が完成しました。



完成間近だね



お知らせ ● 休業のお知らせ ● 公開講座・シンポジウムなど

休業のお知らせ

年末年始休業について

三重大学では、平成25年12月28日(土)～平成26年1月5日(日)の間、年末年始のため休業とさせていただきます。

平成25年 12/28 5 平成26年 1/5



公開講座・シンポジウムなど

人文学部特別講義「桂吉坊に聴く芝居噺」

- 日時◎ 平成25年10月22日(火) 12:30～14:30
○会場◎ 環境・情報科学館
○出演者◎ 桂 吉坊(落語家)
吉丸雄哉(人文学部・准教授)
○問い合わせ先◎ 人文学部 田中綾乃
E-mail : sophy-tana@human.mie-u.ac.jp

人文学部「公開ゼミ」

- 会場◎ 三重大学人文学部
○受講料・定員◎ 無料・各20名
○受講対象者◎ 市民一般
○申込方法◎ 電話、FAX、メール
○申込期間◎ 各開講日の5日前まで(定員まで先着順に受け付けます。)
○申込み・問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当
☎059-231-9196、059-231-9195
FAX 059-231-9198
E-mail : hum-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/kouza/

⑤フェニキア都市からローマ都市へ ～地中海沿岸部に展開した古代都市文明を探る～

- 講師◎ 山中 章(人文学部・特任教授)
○日時◎ 平成25年10月23日(水)、30日(水)、11月6日(水) 14:40～16:10

⑥接待について考える

- 講師◎ 立川陽仁(人文学部・准教授)
石井眞夫(人文学部・特任教授)
北川眞也(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成25年11月5日(火)、12日(火)、19日(火) 19:00～20:30

⑦文化の違いとコミュニケーション

- 講師◎ 藤本久司(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成25年11月22日(金)、29日(金)、12月6日(金) 13:00～14:30

⑧災害時の国、自治体、住民・ボランティアの役割と法

- 講師◎ 前田定孝(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成25年11月25日(月)、12月2日(月)、9日(月) 19:00～20:30

※①～④回は終了しました。

人文学部創立30周年記念行事

- 受講料◎ 無料
■三重大学人文学部伊勢湾・熊野地域研究センター、久留倍官衙遺跡を考える会議講演会
「世界の遺跡のバーチャルリアリティー～久留倍遺跡復元のために～」
○日時◎ 平成25年10月26日(土) 13:00～17:00
○会場◎ 四日市市あさけプラザ
○定員◎ 300名
○受講対象者◎ 市民一般
○問い合わせ先◎ 人文学部 山中 章/☎059-231-9148
E-mail : yaa@human.mie-u.ac.jp

- ①久留倍官衙遺跡の立体復元
○講師◎ 箱崎和久(奈良文化財研究所・遺構研究室長)
②鈴鹿関のCG復元
○講師◎ 関口敦仁(愛知県立芸術大学・教授)
③長岡京のCG復元
○講師◎ 河角龍典(立命館大学・准教授)
④海外遺跡復元事情
○講師◎ 山中 章(人文学部・特任教授)

- 三重大学人文学部30周年記念事業 演劇ワークショップ
「演劇を用いたコミュニケーションワークショップ」
○日時◎ 平成25年12月4日(水) 12:30～14:30
○会場◎ 三重大学講堂小ホール
○講師◎ 平田オリザ(劇作家、演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授)
○問い合わせ先◎ 三重県文化会館/☎059-233-1122

- 平成25年度文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
三重大学人文学部30周年記念事業 特別講演会
「わかりあえないことから～コミュニケーション能力とは何か～」
○日時◎ 平成25年12月4日(水) 16:00～17:30
○会場◎ 三重大学講堂
○講師◎ 平田オリザ(劇作家、演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授)
○問い合わせ先◎ 三重県文化会館/☎059-233-1122

壬申の乱ウォーク

- 講師◎ 山中 章(人文学部・特任教授)
○受講対象者◎ 市民一般
○問い合わせ先◎ 人文学部 山中 章/☎059-231-9148
E-mail : yaa@human.mie-u.ac.jp

①第30回 大友皇子自害の地山崎を歩く

- 日時◎ 平成25年11月9日(土) 8:00～17:00
近鉄四日市駅前(市立博物館前)集合
○会場◎ 京都府乙訓郡大山崎町周辺
○受講料・定員◎ バス代4,000円・100名
○申込方法◎ 電話、メール

②第31回 聖武天皇行幸地・河口頓宮を訪ねて

- 日時◎ 平成26年2月8日(土) 9:00～13:00
近鉄柳原温泉口集合
○会場◎ 津市周辺
○受講料・定員◎ 無料・自由参加

青少年のための科学の祭典2013 三重大学大会

- 日時◎ 平成25年11月16日(土)、17日(日)
1日目13:00～17:00 2日目10:00～16:00
○出展者◎ 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、科学ボランティア 他
○会場◎ 三重大学講堂
○受講料・定員◎ 無料・自由参加
○受講対象者◎ 児童、保護者、市民一般
○問い合わせ先◎ 教育学部 後藤太郎/☎059-231-9260
URL http://sci.edu.mie-u.ac.jp

「伊勢国際宗教フォーラム」第7回年次大会・聖地見学会

- 受講対象者◎ 市民一般
○問い合わせ先◎ 人文学部 久間泰賢
E-mail : kyuma@human.mie-u.ac.jp
URL http://www.iifrf.jp/
※当フォーラムへの入会を希望される場合もお問い合わせください。

- 聖地見学会
○日時◎ 平成25年11月16日(土) 14:00～16:00
○場所◎ 外宮御垣内特別参拝～外宮古殿拝観～外宮月夜見宮参拝 13:45迄に外宮第一鳥居前に集合
○受講料◎ 1,000円

- 第7回年次大会
テーマ:「宗教と環境～伝統の継承と再生～」
○日時◎ 平成25年11月17日(日) 10:00～16:15
○会場◎ 皇學館大学4号館431教室
○受講料◎ 一般参加者1,000円(学生は無料)
弁当代1,000円(希望者は事前連絡)
懇親会費3,000円(大会終了後に皇學館大学内の倉庫会館で実施、参加希望者は事前連絡)

三重大学地域貢献事業 M-PAD in 三重大学

- お茶を飲みながら文学作品のリーディングを楽しむ会
○日時◎ 平成25年11月27日(水) 15:00～17:00
○場所◎ 環境・情報科学館
○出演者◎ 劇団「このしたやみ」
○問い合わせ先◎ 人文学部 田中綾乃/☎059-231-9115

?「発見塾」

- 受講料・定員◎ 無料・自由参加
○受講対象者◎ 市民一般
○問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館/☎059-231-9032
URL http://www.lib.mie-u.ac.jp

■ハゲはなぜ悩ましいのかー劣等感の社会史ー

- 講師◎ 森 正人(人文学部・准教授)
○日時◎ 平成25年11月30日(土) 13:30～15:00
○会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■高血圧を予防・治療して、延ばそう健康寿命

- 講師◎ 伊藤正明(医学部附属病院・教授)
○日時◎ 平成26年1月25日(土) 13:30～15:00
○会場◎ 芸濃総合文化センター 大研修室

■健康寿命を延ばすための食生活とは?

- 講師◎ 矢野 裕(医学部・准教授)
○日時◎ 平成26年3月22日(土) 13:30～15:00
○会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■三重大サイエンスカフェ(第2回)

- Yubaメソッドで、どんな人もいい声になる! 歌が上手くなる!
○講師◎ 弓場 徹(教育学部・教授)
○日時◎ 平成25年12月12日(木) 15:00～17:00
○場所◎ 津駅前 伊勢門【EBIIRO】
○受講料・定員◎ 500円・30名
○申込み・問い合わせ先◎ 社会連携研究センター(研究支援チーム)
☎059-231-9704
E-mail : ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp

催し物

第58回 東海地区国立大学文化祭

- 日時◎ 平成25年11月23日(土) 9:30～、24日(日) 10:00～
○会場◎ 津リージョンプラザ:【演劇部門】11月23日(土)
三重県総合文化センター:【美術部門・音楽部門】11月23日(土)・24日(日)



お知らせ ● 公開講座・シンポジウムなど ● 催し物

三重大学人文学部30周年記念企画

地域とつながる・地域を発信する—地域・卒業生と考える人文学部の役割—

日時 / 2013年11月30日(土) 13:00~18:30

※人文学部同窓会の総会が12時10分~12時50分に行われます。
※また13時~18時30分に人文学部同窓会としての企画も開催されます。

●「人文学部からの発信・人文学部での出会い」(テーマ別企画) ◎時間◎ 13:00~14:30

- ①シンポジウム
文化を育む仕事—博物館や図書館で活躍する卒業生—
◎会場◎ 大会議室
◎内容◎
文化学科はさまざまな文化事象に関する研究・教育を行っています。ここでは、文化財保護や図書館司書といった職場で働く卒業生たちにその活躍を報告してもらい、文化の普及や発展に関わるそうした仕事の意義や楽しさ、あるいは将来への展望などについて、共に考えてみたいと思います。
- ②シンポジウム
世界の若者が見る日本
◎会場◎ 三重大学講堂 小ホール
◎内容◎
特に最近10年ほどの間、海外の協定校が増え、人文学部への留学生も多様化しています。留学生はなぜ日本や日本語に興味をもったのか、協定大学の教員や、国際交流に関心のある学生、国際的に活躍する卒業生の話もまじえ、日本や世界の「今」の状況をグローバルな視点で見つめよう。
- ③シンポジウム
求められる「自治体職員」像と大学教育
◎会場◎ 視聴覚教室
◎内容◎
1990年代以降の地方分権改革の動きの中で、求められる「自治体職員」像はどのように変容してきたのでしょうか。人文学部卒業の自治体職員、学生、教員がともに考えることで、未来の自治体職員を目指す学生諸君にエールを送れたらと考えています。
- ④講演会
日本の社会保障~30年前・30年後を考える~
◎会場◎ 第2講義室
◎講師◎ 和田康紀(人文学部・法律経済学科・准教授(前厚生労働省企画官))
◎内容◎
国民の生活を支える社会保障制度は、社会・経済状況の変化に対応しながら、発展してきました。人文学部30周年に際し、日本の社会保障制度について、これまで30年間の形成・発展の流れを振り返るとともに、現在直面している課題と30年後の将来を見据えた展望について解説していきたいと考えています。
- ⑤シンポジウム
先輩法曹と語ろう
◎会場◎ 第1講義室
◎内容◎
法曹とはなにか、社会においていかなる使命を負っているのか、学生時代にどのような志や信念を持って勉強に打ち込んだのか、など、人文学部出身法曹とともに熱く語ろう。
- ⑥報告会
三重の地域を善くしたいと頑張る企業・NPOの活動—学生による取材・調査の報告—
◎会場◎ 第3講義室
◎内容◎
“産官学民”の連携により、NPOと企業のパートナーシップを促進するワーキンググループを今年度新しく立ち上げました。現在、三重県内で地域を善くしたいと活動する企業やNPOを学生がレポーターとなって取材・調査し情報発信する取り組みを行っており、その中間報告を行います。
- ⑦シンポジウム
【大学院修了生企画】大学院で「学び直す」
◎会場◎ 第1演習室
◎内容◎
人文社会科学研究科に社会人として入学・修了した人たちの多くは、現在、三重県内外でそれぞれの役割を担っています。この企画は、社会的な経験の上にこれから「学び直す」と思っている人たちと修了生が、その志や思い、「学び直す」この意味等を語り合う企画です。
- ⑧ポスターセッション
人文学部—研究の現在—
◎会場◎ 三重大学講堂 ホワイエ
◎内容◎
文化学科の4つの地域研究、法律経済学科(社会学科)の各分野で、また、分野を横断して、現在、どのような研究が行われているか、どのような課題が追究されているかを、ポスターでわかりやすく示します。興味のある話題が見つければ、それについて教員や学生に質問したり話し合ったりできるコーナーもあります。

●全体シンポジウム「地域・卒業生と考える人文学部の課題」(記念式典)

◎時間◎ 15:00~16:30
◎会場◎ 三重大学講堂 大ホール
◎司会◎ 辻上浩司氏(伊賀市副市長・卒業生)
高橋美帆氏(ZTVアナウンサー・卒業生)

◎内容◎
人文学部が何をめざしてきたか、何をめざしたらよいか、参加者全員で考えます。人文学部は、地域や日本、そして世界で活躍する卒業生を輩出し続ける、そして、地域を元気にする、そして地域を世界に発信する、そのような人文学部であるために、何をしたらよいか、地元で活躍する企業人、高校の教員、そして何よりも卒業生に発信していただきます。



●「三重大学人文学部30周年記念交流会」(パーティー)

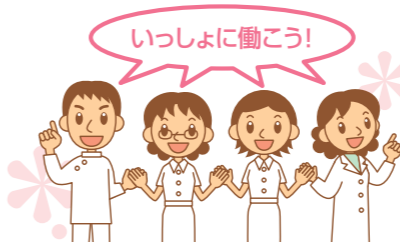
◎時間◎ 17:00~18:30(18:00 中締め)
◎会場◎ 三重大学講堂 小ホール・ホワイエ・大ホール
◎協力◎ 人文学部同窓会
◎参加費◎ 無料
※自動車で行かれる場合は、記念交流会(パーティー)での飲酒はおやめください。公共交通機関の利用をお願いします。
※記念交流会(パーティー)の終了後、教員と指導学生(卒業生)との懇親会が予定される場合があります。

◎内容◎
30周年記念企画の参加者全員で交流したいと思えます。卒業生の方から、近況や「思い」を発言していただけます。発言しきれない場合は、印刷物を検討します。教員・卒業生・地域・大学関係の方が、それぞれに「再会」するとともに、あらたな結びつきに「出会う」、そういう場にしましょう。



看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々と知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。



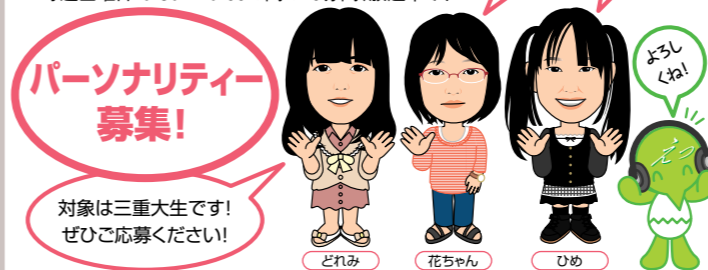
【お問い合わせ先】
三重大学医学部附属病院看護部
☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

FM三重で放送中!!

■~学生の企画するFMラジオ番組~

「Campus CUBE」

毎週金曜日20:30~20:55の間の25分間、放送中です!



★応募先★ 三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

三重テレビ放送で放送中!!

きらめく群像~三重大学の財~

三重大学の教員を中心に大学の「今」をご紹介します。

今後の放送日(予定)
時間はいずれも
12:00~12:29

2013年10月22日(火)
11月26日(火)
12月24日(火)
2014年 1月28日(火)
2月19日(水)
3月26日(水)



三重大学のテレビ番組だよ!
MTU
三重テレビ放送
第1チャンネル(071)

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学費援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法● 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

お問い合せ先
ご郵送先

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/foundation/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

本誌お問い合わせ先

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

えっくす特別号2013 平成25年10月15日発行

- 発行 / 三重大学広報委員会
 - 編集 / 三重大学企画総務部総務チーム広報室
 - 印刷 / 有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
- ◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

65th 三重大学祭

テーマ
進華

～生まれ変わる三重大祭～

11/2・3

SAT SUN
9:00～19:00



川柳大会の歌詠を
豊後宮にやみゆるくは終りにし
贈答し物もよむべし



11/2
SAT

アーティスト
ライブ
藍坊主

11/3
SUN

後夜祭

10/26
SAT

プレイベント
～イス取りゲーム～

予備日10月27日(日)

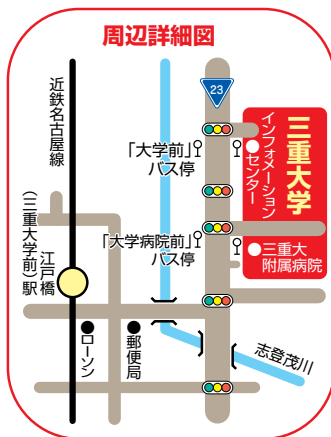
M-1コンテスト
スポーツ企画
女装コンテスト
カラオケ企画
模擬ステージ
子ども企画
スタンプラリー
学術企画
マンモ津フリーマーケット
MMF(Mie Music Festival)
市町村物産展

三重大学大学祭実行委員会の
twitterもあるよ!
みんなもフォローしてみてね!



※駐車場は若干数のみとなります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エポートラインで津なぎさまちへ45分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

